

平成21年雲南市議会9月定例会一般質問通告一覧表

平成21年9月14日

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
1	17	堀江治之 (一問一答)	1.危機管理対策について	(1)災害時の弱者避難計画について、検討状況と今後の取り組み方針について伺う  (2)新型インフルエンザ対策について、現在の市内の発症状況・ワクチンの市内配分予定数量・接種順番の考えについて伺い、蔓延時の市・学校・雲南病院・消防署の体制について伺う  (3)河川堤防(斐伊川・三刀屋川)の安全性と現状を伺い、今後の整備計画について伺う  (4)災害情報伝達方法についての現状と今後の取り組み方針について伺う  (5)地震マップの作成の考えはないか伺う  (6)防災会議の開催状況について伺う  (7)危機管理専門部署の設置の考えはないのか伺う	
			2.各種計画書の推進状況について	(1)過疎地域自立促進計画について、推進状況と今後の取り組み方針について伺う  (2)雲南市障害福祉計画について、第1期計画の推進結果・計画の見直しと今後(第2期計画)の取り組み方針について伺う  (3)雲南市次世代育成支援行動計画について、特定14事業に係る目標事業量の推進状況と今後の取り組み方針について伺う  (4)雲南市男女共同参画計画について、4項目の目標値に係る推進状況と今後の取り組み方針について伺う	
			3.テレビの地上デジタル化対策について	(1)市内の地上デジタル化の対応状況と今後の対応策について伺う	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
2	6	細木和幸 (一括)	<p>1.情緒、情操教育について</p> <p>2.地産地消農作物の安全・安心の保証手段について</p> <p>3.「ゆとりの里」に代わる温浴施設について</p> <p>4.行政の市民への周知方法について</p> <p>5.公共建物等の建築について</p>	<p>(1)すぐ切れる若者。自分のうっぷんを、他人を傷つけ、殺害することで晴らそうとする人たち。因果関係の存在しない特異な出来事。短絡的な事件は、何を土壌として発生し続けるのか。原因は単純なものではないと思うが、情緒情操教育は健全になされているのか、教育全般の中から所見を伺う</p> <p>(1)外国産農作物に残留農薬等の問題があつて、地産地消農作物は、一段と好まれるようになってきたが、これの安全・安心の保証手段はどのようなものが講じられているのか伺う</p> <p>(1)「ゆとりの里」に代わる温浴施設については、検討委員会で鋭意検討されているが、市民の皆様から「水中歩行設備」の要望が強い。高齢者の健康管理上からも設置できないか伺う</p> <p>(1)1度や2度の周知で全市民へ届くと思うのは判断が甘いと思う。「見るべきだ」、「聞くべきだ」ではなく、「どうしたら見てもらえるのか」、「どうしたら聞いてもらえるのか」の姿勢が必要と思うが見解を伺う</p> <p>(1)古き良き時代には、建物にはオシャレ部分も取り入れた建築がなされていた。しかし、オシャレ部分は総じて耐久性に乏しく、いま公共事業予算が厳しい中では、質実剛健主義に徹するべきではないか伺う</p>	
3	3	山崎英志 (一問一答)	1.企業誘致活動について	<p>(1)現在までの雲南市における企業誘致活動への取り組み状況とその成果は</p> <p>(2)現在の雲南市の企業誘致活動取り組みへの組織体制・人員体制は</p> <p>(3)平成20年代半ばに中国横断道尾道松江線が全線開通する見通しであるが、全線開通は雲南市にとって企業誘致に向けての絶好の機会と考えるが如何か</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
			2.新型インフルエンザ対策について	<p>(4)高速道路の全線開通を見据え、新たな雇用の場の確保のために、企業誘致専門の部署を設ける考えはないか</p> <p>(1)厚生労働省の推計では、新型インフルエンザ患者発生のピークが9月下旬から10月上旬とされているが、新型インフルエンザ患者大量発生に備えた雲南省の取り組み状況は</p> <p>(2)保育所、幼稚園、小学校、中学校での集団感染発生に備えた取り組み状況は</p> <p>(3)新型インフルエンザ患者大量発生に備えた、市内公立病院等並びに診療所等の対応状況は</p>	
4	19	小林 眞二 (一問一答)	<p>1.衆議院選挙について</p> <p>2.企業立地支援対策事業について</p>	<p>(1)選挙結果についての所見は</p> <p>(2)政権交代は補正予算や税収など、国及び雲南省行政への影響を及ぼす可能性が想定されるが、市長の見解は</p> <p>(3)特に麻生政権が編成した約14兆円に上る2009年度補正予算の執行停止が現実化すれば、どのような影響がでるのか、具体的な事業と併せてその対策について伺う</p> <p>(1)レイコフ(ホテルシステムズ)が民事再生法を適用し、新たな譲渡先(株)ユニマツトリバティエーが昨年より運営開始されているが、企業概要と現在に至る雲南省及び金融機関の係わりについて伺う</p> <p>(2)クラシック島根CCへの支援とはどんな内容か</p> <p>(3)昨年9月に助成金交付申請が行われ、交付要綱廃止済みのため、認定されなかったが、何故1年も経過しての扱いなのか</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
			<p>3.吉田地域デマンドバス運行について</p> <p>4.地方の元気再生事業について</p> <p>5.市政懇談会について</p>	<p>(4)二度にわたる民事再生を適用したクラシック島根C Cへの新たな支援は市民感情から容認しかねる。地元で永年にわたって経営をしている零細事業者にも経営環境が悪化している中、固定資産税等の減免措置は図れないのか伺う</p> <p>(1)吉田地域バス運行での輸送人数(年)及び運営経費は</p> <p>(2)デマンドバス導入での経費の増減は</p> <p>(3)曜日運行の計画であるが、利用見込みと曜日運行の不便さを住民から指摘されるのではと考えられるが</p> <p>(4)今後のデマンド運行についての考え方は</p> <p>(1)国の企画に応募された「雲南市から交流人口拡大に向けた企画」が、6月末に採択されたとなっているが、具体的な内容は何か</p> <p>(2)この企画を雲南ブランド化にどのように活かし、どのような戦略をもって交流人口の拡大とコミュニティの活性化に向けて取り組んでいくのか</p> <p>(1)今年度は7月1日から8月4日までの間で市内33ヵ所、2,085人の参加で開催されたと報告がある。現在、質疑・意見交換内容を取りまとめ中と思うが、どのような意見・要望があったのか伺う</p> <p>(2)速水市政が発足して5年、この懇談会から自分の展望する施策と市民のニーズとでギャップを感じたことはあるのか。また、市民の声から目新しい意見、自分を省みるような貴重な意見はなかったのか伺う</p>	
5	13	藤原信宏 (一問一答)	1.農業の振興について	(1)日米F T Aの締結反対についての見解を伺う	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
			2.教育行政について	<p>(2)農地法の改正について</p> <p>①一般企業の農業参入は、条件不利地域に及ばない。その対策はどうか。また、採算が合わず、企業が撤退した時、大規模に遊休地化する農地はどうするのか</p> <p>②住民が採算や効率を度外視し、農道や水路管理作業を担い環境を維持してきた。営利目的で算入する企業と地域社会との調和をどう図っていくのか</p> <p>③農振除外地域などにおける一律の農地転用規制の強化は、都市振興、道路事業への弊害や住民との摩擦を生ずる。臨機応変な対応が必要だがどうか</p> <p>(3)「農地有効利用支援整備事業」の国県補助に幾らかの市補助を上乗せすべきと考えるがどうか</p> <p>(1)教育費負担の軽減について</p> <p>①就学援助費の補助金額の削減や一般財源化の流れの中で、特に自治体によって認定基準が異なる重要保護の受給の推移はどうか。認定を厳しくしたり、援助費の対象や補助額を減らす方向に後退していないか伺う</p> <p>②経済的に困難な父子家庭に児童扶養手当を増額される考えは</p> <p>(2)学校・幼稚園の統合について伺う。平成20年度の出生数は市内全体で僅かに276人、1小学校平均13人である。これでは集団としての教育ができない。検討委員会の最終答申も出ている。子供の教育効果を考え、適正規模・適正配置の具体的方針を決定する時期だがどうか</p> <p>(3)改正学校給食法が施行された。地元食材の比率や、米飯・和食メニューの増加など、学校給食はどう変わるのか伺う</p> <p>(4)子供たちに農業の知識と大切さを教え、稲作文化を伝えなければ日本の暮らしの礎が崩壊する。教育の場で農業を伝える取り組みについて伺う</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
			3.新庁舎建設事業の計画的推進について	<p>(1)新庁舎建設の必要性について、改めて市長の認識を伺う</p> <p>(2)時間をかけて計画的、慎重に準備を進めなければ良いものはできないし、様々な障害を招く。速やかに建設に向けた庁内の調査・検討委員会を設置して検討に入る考えは</p> <p>(3)合併特例期間は残り5年、事業認定等々の手続きを考えればそう余裕はない。早急に財政計画を立て、次回の実施計画のローリングに盛り込まねばならないが方針を伺う</p> <p>(4)今議会に庁舎建設基金の廃止条例が提案されている。特定目的基金の意義を重んじ、新たに本庁舎建設基金を造成して全額積み替え、計画的に積立を図るべきと考えるがどうか</p> <p>(5)島根県の対応は大丈夫か。交渉はどこまで進んでいるのか</p> <p>(6)早期に土地収用法に係る事業認定を取り、土地の先行取得を進める事も重要だ。土地開発公社や土地開発基金を活用して、土地の先行取得を進める考えは</p>	
6	2	周 藤 正 志 (一問一答)	<p>1.子育て教育支援について</p> <p>2.健康増進対策について</p>	<p>(1)学校や遊び場にある遊具の点検・修繕はどう行っているのか。また、遊具がたくさんある遊び場を作る考えはないか</p> <p>(2)教育後援会会計から施設の修繕費が賄われている実態があり、問題だがどうか</p> <p>(3)「子育てするなら雲南市」であるなら、親の負担軽減のため保育料を低減していくべきと思うがどうか</p> <p>(1)うつ病等心の健康対策及び自殺防止対策はどのように行われているか</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
			3.市政運営について	<p>(2)受動喫煙防止対策はどのように行われているか</p> <p>(3)メタボ健診の受診率が県下一低かったが、取り組みが不十分ではないか</p> <p>(1)公共サービス基本法が成立したが、どう対応していくのか</p> <p>(2)市長の政治手法は、合意形成を図っていく上で問題があるのではないか(例 交流センター構想)</p>	
7	4	高橋雅彦 (一問一答)	1.雲南市総合計画について	<p><b>【総合計画】</b></p> <p>(1)基本構想平成19年度から26年度、基本計画、地域計画の前期(19年度から22年度)の中間的評価は</p> <p>(2)総合計画における「地域ブランド」の目指すものは</p> <p>(3)雲南市の「地域ブランド」の創造目的は、住民自治、定住環境、保健・医療・福祉、教育・文化、産業・雇用の計画の効果を高める優先プロジェクトと考えるとよいのか</p> <p>(4)「地域ブランド」向上による多様な交流活動が経済効果を生み、まちづくりへの相乗的な波及効果が生まれるとあるが、具体的にその実例があるのか</p> <p>(5)基本構想の流れは、交流人口の拡大(定住人口の確保)による新たな雇用の場や市民所得の確保に努めるとあるが、交流人口の拡大のための基本ビジョンは何か</p> <p><b>【基本計画、地域計画、推進計画】</b></p> <p>(6)基本計画の産業・雇用編について</p> <p>①それぞれ22年度の目標数値があるが、その進捗状況は</p> <p>②地場産業の振興と起業家支援の具体的な事業はどのようなものがあるか</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
				<p>③農業の6次産業化の推進とあるが、具体的にはどのような戦略か</p> <p>(ア)雲南の大規模農業は少ないものの、販売戦略としては極めて多彩な販売方法を持っている。最近、CSA(コミュニティ・サポーター・アグリカルチャー)という地域支援農業の考え方によるリスク回避型の農業振興が芽生えているが、雲南にはその素地を持っていると思う。是非、JAと一緒に研究、普及を図ってほしいがどうか</p> <p>(7)地域計画について、旧町村別の地域計画の実践には、各総合センター長の権限と責務が明確にならないが、その状況はどうか</p> <p>(8)次年度新たな基本計画や地域計画を検討するにあたり、限られた財政の中で幅広い政策よりも具体的即効性のある政策へ転換する必要があると考えている。経済環境が厳しい中では、外部からの経済誘導は期待できず、地域の持っている潜在的力を最大限発揮する施策をもっとクローズアップするよう、計画樹立の基本コンセプトに盛り込むよう考えるがどうか</p>	
8	7	土江良治 (一問一答)	1.耕作放棄地解消対策について	<p>(1)「農地法の一部改正」がなされ、農地取得の下限面積が市の農業委員会の判断で引き下げ可能となった。このことは農業振興にどのように影響すると思われるのか</p> <p>(2)空き家希望のU・Iターン者に農地取得の希望者は、どの程度あるのか。希望者に対応するため農業委員会と呼応して、特区的なものをもって下限10aより更に下限の面積を設定すればU・Iターン者が増えるなど定住対策に好影響を及ぼすと思われるのか</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
			<p>2.観光の振興について</p> <p>3.合併5年目各種計画など の中のテーマごとの進 捗状況、課題、今後の方 途などを広報の特集連 載で理解を深めること について</p> <p>4.ダム湖周辺の一画に滞 在型市民農園開設につ いて</p>	<p>(1)国の重要有形民俗文化財「菅谷たたら」の大部分が市に寄贈された。年間の観光客数の最近の推移とこれまでの支援と今後直接管理にどの程度の維持費を想定しているのか。「お荷物」としないために「ものがたり観光」としてどのように知名度をあげ、長期的な観光施策を打ち出していくのか伺う</p> <p>(1)市総合計画において実施が計画されている諸施策が道半ばと云えども市民はどの辺りを歩んでいるのかは分からない。市報うんなん7月号の「雲南病院の市立化」の特集は現状、課題、今後の方途が不満足ながら理解できる紙面構成であった。このように道路、上下水道、携帯電話の不感地域などなどテーマごとに現状、課題を今後の市報で毎号特集を組んで理解を深める努力をしてはどうか</p> <p>(2)このような努力があれば市政懇談会も、もう少し活発化すると思われるがどうか</p> <p>(1)飯南町志津見ダム上流に「志都の里クラインガルテン」がある。都市と農村の交流を目指す新しい園施設、年間利用料36万円など、ダムのため人口が極端に減少した温泉地区の活性化策の一環として開設できないか伺う</p>	
9	1	佐藤隆司 (一問一答)	1.加茂雲並地区新住宅団 地造成事業について	<p>(1)住宅マスタープランとの整合性はあるのか</p> <p>(2)事業主体を島根県住宅供給公社とされた理由について伺う</p> <p>(3)住宅マスタープランでは、そら山団地に平成22年度20区画の分譲が計画されているが競合することはないか伺う</p> <p>(4)市道中村家路線改良の事業概要について伺う</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
			<p>2.新庄飯田線第3工区の整備促進について</p> <p>3.米の乾燥調整貯蔵施設整備事業について</p>	<p>(1)「沿道区画整備型街路事業」の導入により、全体工期の短縮を図るため以外の雲南市にとってのメリットは何か</p> <p>(2)既存の商店街の活性化はどのように対応されるのか</p> <p>(1)事業実施に伴う地元周辺の環境(騒音・粉塵・汚水など)への影響はどのように想定され、また対処されるのか伺う</p> <p>(2)カントリーエレベーター稼動に伴う周辺道路整備の必要性について伺う</p>	
10	22	板持達夫 (一括)	<p>1.新市里方線の改良とJR木次線里方踏切の整備について</p> <p>2.交流センター化に伴う地区福祉委員会の在り方について</p>	<p>(1)木次駅裏の30区自治会を通っている市道新市里方線約180m区間は、幅員が狭隘で災害時に対応できない。この区間の改良とJR里方踏切の早期整備を図る考えは(平成17年8月11日市長陳情)</p> <p>(2)この路線の改良整備は木次町時代、まちづくり交付金事業として採択されていたが、合併後何ら進捗をみていないがどうか</p> <p>(1)福祉委員会はいくまで自主組織が設置すべきだがどうか</p> <p>(2)福祉委員は自主組織が任命し、その一員とすべきだがどうか</p> <p>(3)地域福祉活動に対する助成は、市からの交付金に一本化するのがベターと考えるがどうか</p> <p>(4)社会福祉協議会(本部及び支部組織)の役割は、地域福祉に関する助言と福祉活動の現地指導とすべきではないか</p> <p>(5)地区福祉委員会の在り方についての混乱から脱却する為、社協及び市は現場説明会を積極的に開催すべきだが考えは</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
			3.上代タノ・加藤歆一郎・永井隆、三氏の偉業を市の「平和教育」への活用について	(1)上代タノ先生(S31～S40 日本女子大学学長)、加藤歆一郎先生(S22～S33 日登中学校長)、永井隆博士(医学者)三氏に共通することは「平和」への願いであった。上代タノ先生は明治期の汽車も通わない雲南(大東町)から日本女子大学英文科入学、米ウェルズ女子大学留学、帰国後母校の英文科教授。のちミシガン大、ケンブリッジ大、コロンビア大留学。のち日本女子大学学長。国際人としての女性の育成を目指し、現代でも通用する理念を持った教育者。S30「世界平和アピール7人委員会」の一員として平和運動に活躍。加藤歆一郎先生は、戦後混乱期にあつて、学校教育と社会教育を産業教育として体系化し、教育の先駆的な役割を果たした。また、クリスチャンとして自宅を開放し、青年に「平和」の大切さを終生指導された永井隆博士はいわずもがな平和の伝道者であり、雲南の地で今も行き続けている。この優れた三氏の偉業を学校教育・社会教育の中で、市の「平和教育」として活用していく考えは	
1 1	1 2	細田実 (一問一答)	1.市長の政治姿勢について  2.公共施設料金の統一と その見直しについて  3.住宅リフォーム助成に ついて	(1)衆議院選挙の結果政権交代が行われるが、期待するものは何か。また、不安と思う点は何か。その解決に向けどう考えるか  (2)市長の新政権に対するスタンスはどうか  (3)市長は市民に対し、不偏不党であるべきと思うがどうか  (1)市内公共施設使用料については、全域での統一が行われた。そのことは正しいが、市民に「高くなった」との認識が強い。3年後の見直しを謳って決定したが、時期を早めて着手すべきではないか。また、学校開放を積極的に進める視点から、学校体育館利用の無料化を図るべきではないか  (1)今年度限りで実施する考えだが、工事額を低くし、低所得者も助成が受けられるようにすべきではないか	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
			4.カントリーエレベーター建設補助について	(1)農家の負担軽減に繋がるとの考えで、大幅に助成額をアップする考えだが、どのように負担軽減が図れるのか	
12	21	深田徳夫 (一問一答)	1.衆議院議員選挙の結果について  2.新型インフルエンザについて  3.農作物の日照不足の影響について	(1)衆議院議員選挙は、民主党の圧勝に終わった。この結果を首長としてどう受け止めているのか所見を伺う  (2)政策変更が公約に掲げられてきた。現時点で雲南市に与える影響はあると考えるか伺う  (1)新型インフルエンザの流行季節を迎える。住民に対する予防対策と雲南市の取り組み、併せてワクチンの接種情報はどのように把握しているのか伺う ①ワクチン接種の負担軽減措置を講ずる考えはないか  (2)新型インフルエンザに関して、開業医等の夜間・休日等における当番医制等は協議しているのか伺う  (3)重症患者も出ることが予想されるが、雲南病院・平成病院等の受け入れは住民が安心できるベッド数の確保はできるのか  (4)65歳以上の方の肺炎の発生を抑える肺炎球菌ワクチンの接種に対し、助成金を講ずる考えはないか。インフルエンザに感染しても、肺炎にかかりにくい体作りが大切と思うが如何か伺う  (1)今年は日照不足による農作物の収穫に影響が生じていると思われるが、実態をどのように把握しているのか  (2)農家の農業所得の低下が懸念される。経済不況と共に消費の落ち込みは地域の活力低下を招く。所得向上対策を講ずる考えはないか伺う	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
			4.銅鐸出土遺跡地周辺の 管理と教育活用について	(1)遺跡地への整備が完了し、周辺整備も整った。今後 どのようにこの大切な史跡遺産を管理するのか課題 と対策を伺い、それをマニフェストとして示しては どうか  (2)ICT活用推進事業などで、銅鐸・神話などを含め た雲南の幸をふるさと教育などに活用できるシステ ム作りなども行われる。この貴重な遺跡指定地・銅 鐸・神話の現場をどのように教育に活用するのか伺 う。また、他の文化財・遺跡等含めて、教育にどの ように生かしているのか併せて伺う	
13	18	光谷由紀子 (一問一答)	1.教育問題について  2.企業立地支援対策につ いて	(1)市内学校や体育施設の使用料について ①市民の体力向上、健康維持、市民相互の親睦に寄 与する施設として、使用料の免除等見直しの声が多 い。対応を求める  (2)大東図書館の仮移転について ①大東地域福祉センターへの仮移転の考え方を問う ②現在図書館は、機能充実が求められている。図書 館の役割をどのように考えているのか ③仮移転後の建設見通しは  (3)大東小学校改築について ①前館の改築が進められているが、後館も耐震度が 低く、防災上の問題点も出てきている。同時に改 築した方がより効率的ではないか考えを問う  (1)クラシック島根カントリークラブを運営する(株)ユニ マツリバティからの助成要望について ①市の対応と考え方を伺う ②支援する場合の根拠は ③民から民への譲渡に対してこういう事例はあって いるのか ④着実に売上げは伸びていると言われている中、公 的支援は如何なものか ⑤他の民譲渡に対しても公的支援をするのか	



質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
			3.産業振興について	<p>(1)8月の産業建設常任委員会によると、「雲南市産業振興条例施行規則の特例に関する規則が本年4月1日に施行され、それに基づき企業立地助成金が5年間交付される。」とのことである。</p> <p>①何の説明もなく、このような規則が作られることに疑問を感じる。特例規則を制定した経緯と市長の所見を伺う</p> <p>②この制度に適用される企業は何社か</p> <p>③掛合島根クラシックゴルフ場に5年間の助成金交付は理解がし難い。三セク特別委員会の報告でも「補助金のあり方」について考え方を出しているが、議会の考え方をどのように受け止めているか改めて所見を伺う</p>	
15	15	村尾晴子 (一問一答)	<p>1.鳥獣被害について</p> <p>2.集落支援員について</p> <p>3.ダム周辺活性化事業について</p>	<p>(1)捕獲後の処理について問題はないのか伺う</p> <p>(1)集落支援員の役割は</p> <p>(2)雲南市での集落支援員の成果は</p> <p>(3)兼任集落支援員としてではなく、専任支援員としてやるべきと考えるがどうか</p> <p>(1)農家レストラン(オーベルジュ)は計画的に事業展開されているのか伺う</p> <p>(2)将来的に人口の動向をどのように考えているのか伺う</p>	
16	9	福島光浩 (一問一答)	1.選挙制度について	<p>(1)時代に合った、市民の生活実態に合った、より市民のための選挙のあり方が求められている。公職選挙法の改正が待たれるが、選挙公報の充実、ケーブルTVを使った政見放送など市として取り組めることはないか</p> <p>(2)市民団体による、市長候補や議会議員候補者による市政討論会が開かれる事例が多くみられるようになってきた。開催に向けて市が関与することはできないか</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
			2.政治教育について	<p>(3)その様子をケーブルTVで放送する事は可能か</p> <p>(4)選挙の公費負担についての考え方は</p> <p>(1)義務教育課程における「政治」に関する授業時間、またその内容の詳細はどのようなものか</p> <p>(2)充実したキャリア教育が展開されているが、「世の中の仕組み」を考えるきっかけとして、政治教育を充実させていく考えは無いか</p>	
			3.身近な市政への取り組みについて	<p>(1)「出前講座」～ふるさと講座～の実施回数・開催団体・講座の種類などは、どのようになっているか。また、その評価について問う</p> <p>(2)今後、どのようにして講座の充実を図っていくのか</p> <p>(3)市役所に寄せられる市民の声(窓口・メールなど)の数、またその内容の把握は、どのような体制で取り組まれているのか</p> <p>(4)組織として対応がとられるべきと考えるが如何か</p> <p>(5)今後どのような形で、市民の声をくみ取る方法・機会を増やす事を考えているのか。また、声に対する回答、周知の方法は</p>	
			4.校庭・園庭などの芝生化について	<p>(1)「鳥取方式」による校庭などの芝生化が全国的に広がってきているが、その数、内容、効果はどのようなものと認識しているのか</p> <p>(2)子どもの心身への好影響はもちろんのこと、地域と学校の連帯感を強め、学校を拠点とした地域づくりにも大きな効果があると考え。市の目指す学校づくりにも合致する施策と考えるが、取り組む考えは</p>	